

## (2) 令和 2 年度事業報告について

### I. 総括事項

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の発生により、短期間の内に私たちの生活スタイルが一変しました。それに伴い、協会の諸活動も停滞し、一同に会しての「みどりの文表彰式」や「講演会」も残念ながら中止を余儀なくされました。また、前期技能検定も中止となり、検定受検のため準備をされてきた受検生にとって、機会を逸することは、大変残念なことでありました。

一方、業界としては、「復興祈念公園」の一部植栽工事が着工となり、防災緑地、防災林造成（復興創生）業務と共に造園緑化工事が復興を加速させています。

また、このコロナ禍にあっても、協会では、業界の課題であります「働き方改革」に向けての研修会を開催し、諸問題について認識を深めたところであります。

更に、公益目的事業として、1,175 通もの応募がありました「第 15 回みどりの文」地域緑化環境推進目的であります「お庭拠点づくりプロジェクト」野口健氏（アルピニスト）と諸井道雄会長との紙面鼎談等により、広く県民に庭や緑化環境への理解を深めていただきました。

また、共益事業として、伐木等の特別教育の実施、県北方面での庭の研修会の実施等、会員皆様のご協力により事業を実施してきたところであります。

## II. 職務執行状況について

### 1. 令和2年度現況報告（令和2年12月31日現在）

#### ①会員異動状況に関する事項

##### 現在会員数

	令和2年1月1日	入会社	退会社	12月末日現在
正会員	114社	2社	2社	114社

入会社2社：清本造園(有)（喜多方市塩川町） 代表 本木 英雄  
                  (有)影山造園土木（郡山市大槻町） 代表 影山 公吉

退会社2社：坂田造園建設(株)（伊達郡桑折町） 代表 坂田 厚  
                  (株)植富造園土木（白河市白坂） 代表 富田 幸男

	令和2年1月1日	入会社	退会社	12月末日現在
賛助会員	0社	1社	0社	1社

入会社1社：ハスクバーナ・ゼノア(株)東北支店（仙台市） 支店長 市川三広

#### 【一般社団法人 日本造園組合連合会】

##### 現在組合員数

	令和2年1月1日	入会者	退会者	12月末日現在
組合員	53名	1社	0社	54名

入会者1社：(有)花月庭園（東白川郡鮫川村） 代表 関根 巨樹

#### 【一般社団法人 日本造園建設業協会】

##### 現在会員数

	令和2年1月1日	入会社	退会社	12月末日現在
会員	14社	0社	0社	14社

## 2. 役員会などに関する事項

### ①各種役員会開催報告

会議区分	開催回数
通常総会	1
理事会	3
監事会	2
三役会	5
合計	11

### ②各種委員会等開催報告

委員会等区分	開催回数
総務委員会	4
事業委員会	2
技術・研修委員会	5
合計	11

### ③その他関連会議開催報告

委員会等区分	開催回数
検定委員・検定補佐員打合せ会議	1

Ⅲ. 令和2年度 月日別行事報告

月・日	事 項	出席者	開催地
1. 9	福島県建設産業団体連合会 新年賀詞交歓会	会長・専務	福島市
1. 15	令和元年度監査	監事 他	福島市
"	年始知事懇談会	会 長	福島市
1. 22	第1回理事会	役 員	福島市
1. 23	東北地方整備局長他へ挨拶回り	会 長	仙台市
1. 29	福島県造園建設業協会いわき支部 通常総会	会 長	いわき市
"	後期3級造園技能検定実技試験	検定委員 他	須賀川市
2. 5	日本造園組合連合会東北ブロック会 理事会・総会	諸井理事他	花巻市
2. 6	福島県造園建設業協会会津支部 通常総会	渡辺副会長	会津若松市
2. 7	福島県造園建設業協会福島支部 通常総会	渡辺副会長	福島市
2. 12	福島県造園建設業協会郡山支部 通常総会	佐久間副会長	郡山市
"	適正な建設生産システム構築・担い手確保に向けての懇談会	専 務	福島市
2. 14	福島県造園建設業協会県南支部 通常総会	佐久間副会長	須賀川市
"	福島県造園建設業協会相双支部 通常総会	会 長	南相馬市
2. 20	伊勢神宮奉納行事第44回造園感謝祭	参加者4名	伊勢市
2. 26	第8回通常総会	会 員	福島市
"	「新担い手三法と人材育成確保、働き方改革」研修会	会 員	福島市
2. 28	福島県建設産業団体連合会 参与会	専 務	福島市
3. 3	日本造園建設業協会東北総支部支部長会	諸井支部長	仙台市
3. 6	福島県森林・林業・緑化協会 第4回役員会	会 長	福島市
3. 10	福島県建設産業団体連合会 理事会	会 長	福島市
"	第1回三役会	三 役	福島市
3. 26	日本造園建設業協会第2回理事会（書面決議）	諸井理事	
4. 10	第2回三役会	三 役	福島市
4. 23	ふくしま植樹祭実行委員会（書面決議）	会 長	
5. 11	福島県建設産業団体連合会第27回理事会	会 長	福島市
5. 14	日本造園組合連合会理事会（書面決議）	諸井理事	
5. 21	福島県森林・林業・緑化協会役員会（書面決議）	会 長	福島市
5. 26	福島県職業能力開発協会 理事会・通常総会	専 務	福島市
5. 27	伐木等に係る特別教育（小径木）	受講者10名	福島市
5. 28	日本造園建設業協会第1回理事会（書面決議）	諸井理事	
6. 3	福島県建設産業団体連合会第36回総会	会 長	福島市
6. 12	福島県森林林業緑化協会理事会・総会	会 長	福島市
6. 16	総務委員会	委 員	福島市
6. 17	技術・研修委員会	委 員	福島市
6. 18	事業委員会	委 員	福島市
6. 30	福島県林業会議監査・総会	専 務	福島市
7. 3	第3回三役会	三 役	福島市
7. 9	日本造園組合連合会第2回理事会（WEB会議）	諸井理事	
7. 13	伐木作業等に係る特別教育の補講（小径木）	受講者14名	福島市
7. 14	伐木作業等に係る特別教育の補講（小径木）	受講者17名	福島市
7. 15	伐木作業等に係る特別教育の補講（小径木）	受講者19名	福島市
7. 16	伐木作業等に係る特別教育の補講（小径木）	受講者24名	福島市
7. 17	伐木作業等に係る特別教育の補講（大径木）	受講者53名	福島市
7. 30	令和2年度上期監査	監事他	福島市

月・日	事 項	出席者	開催地
8. 6	第2回理事会	役 員	福島市
8. 7	福島県建設産業団体連合会第2回参与会	専 務	福島市
〃	日本造園建設業協会東北総支部正副総支部長会議	諸井副総支部長	仙台市
8.20	総務委員会	委 員	福島市
8.25	日本造園組合連合会第1回経営・組織・安全委員会（WEB会議）	諸井理事	
8.27	福島県建設産業団体連合会第29回理事会	会 長	福島市
9. 3	令和3年度県予算編成に対する要望聴取会（建産連）	専 務	福島市
9.11	ロボット芝刈機実演会	会 員	白河市
9.23	第15回「みどりの文」審査会	会長他	福島市
〃	第4回三役会	三 役	福島市
10. 2	技術・研修委員会	委 員	福島市
10. 9	日本造園建設業協会東北総支部 支部長会議	諸井副総支部長	仙台市
10.13	日本造園組合連合会第3回理事会（WEB会議）	諸井理事	
10.16	令和2年親善ゴルフ大会	会 員	西白河郡
10.23	日本造園組合連合会東北ブロック会第2回理事会	諸井理事	仙台市
10.28	福島県森林・林業・緑化協会 第3回役員会	会 長	福島市
11. 2	日本造園建設業協会東北総支部事務局引継ぎ	諸井副総支部長	仙台市
11. 5	令和2年度後期造園技能検定3級打ち合わせ会議	検定委員・検定補佐員	福島市
11.10	「お庭拠点づくりプロジェクト」選考会	委員 他	福島市
11.11	庭園研修会	会 員	二本松市 福島市
11.16	福島県建設産業団体連合会第30回理事会	会 長	福島市
11.24	事業委員会	委 員	福島市
11.25	総務委員会	委 員	福島市
〃	日本造園建設業協会第4回臨時理事会（書面決議）	諸井理事	
11.26	技術・研修委員会	委 員	福島市
11.27	第5回三役会	三 役	福島市
12. 2	後期造園技能検定3級実技予備講習会	受講生2名	須賀川市
12. 3	日本造園建設業協会福島県支部と北陸地方整備局所管施設との災害応急 対策業務に関する協定締結	諸井支部長 事務局長	福島市
〃	後期造園技能検定3級学科予備講習会	受講生2名	福島市
〃	日本造園組合連合会事務局研修会議（WEB会議）	主 事	
12.10	岩瀬農業高校環境工学科学生との座談会（発表者 西東 一守）		岩瀬郡
12.11	三役年末あいさつ回り	三 役	福島市
12.22	第3回理事会	役 員	福島市

## IV. 各種会議報告

### 第8回通常総会

- 日 時：令和2年2月26日（水）午後1時30分  
場 所：福島市 ウェディング エルティ  
出席者：会員 110名 / 116名（本人出席 49名 委任状提出者 61名）  
議 事：(1) 令和元年度決算報告について  
(2) 令和元年度役員報酬について  
報告事項：(1) 令和元年度公益目的支出計画実施報告について  
(2) 令和元年度事業報告について  
(3) 令和2年度事業計画について  
(4) 令和2年度収支予算について

### 第1回理事会

- 日 時：令和2年1月22日（水）午後3時30分  
場 所：福島市 福島グリーンパレス  
出席者：諸井会長 以下20名  
報告事項：(1) 職務執行状況について  
議 事：(1) 令和元年度事業報告について  
令和元年度決算報告について  
令和元年度公益目的支出計画実施報告について  
(2) 協会表彰について  
(3) 会費徴収規程の一部変更について  
(4) 賛助会員の入会について  
(5) 検定員の推薦について  
(6) 第8回通常総会日程について  
そ の 他：(1) 今後の日程について

### 第2回理事会

- 日 時：令和2年8月6日（木）午前10時30分  
場 所：福島市 ウェディング エルティ  
出席者：諸井会長 以下19名  
報告事項：(1) 職務執行状況について  
議 事：(1) 下期事業について

- 「みどりの文」表彰式について  
講演会について  
顧問会について  
(2) その他 今後の予定について

### 第3回理事会（書面）

日 時：(提案) 令和2年12月22日（火）

(決議) 令和2年12月28日（月）

報告事項：(1) 職務執行状況について

#### I. 現況報告

1. 会員異動状況に関する事項
2. 役員会などに関する事項
3. 月日別行事報告
4. 各種会議報告
5. 会計収支状況について（令和2年11月30日現在）

#### II. 事業報告

- 議 事：(1) 令和3年度事業計画について  
(2) 特別会費の料率について  
(3) 役員報酬について  
(4) 退職金共済掛金月額について  
(5) 令和3年度予算について  
(6) 役員選任規程の変更について  
(7) 員外理事の選任について  
(8) 員外監事の選任について  
(9) 賛助会員の入会について  
(10) 第9回通常総会について

### 監事会

日 時：令和2年1月15日（水）午後2時

場 所：協会会館 会議室

出席者：佐藤芳明(代表)・塩田純人・齋藤忠雄(外部)

監査内容：令和元年度下期定期監査並びに事業執行状況

日 時：令和2年7月30日（木）午後3時  
場 所：協会会館 会議室  
出席者：佐藤芳明(代表)・塩田純人  
監査内容：令和2年度上期監査並びに事業執行状況

### 第1回三役会

日 時：令和2年3月10日（火）午後3時  
場 所：協会会館 会議室  
出席者：諸井会長 以下4名  
議 事：(1) 今後の予定について  
(2) その他

### 第2回三役会

日 時：令和2年4月10日（金）午後2時  
場 所：協会会館 会議室  
出席者：諸井会長 以下4名  
議 事：(1) 職員の採用について  
(2) その他

### 第3回三役会

日 時：令和2年7月3日（金）午後3時  
場 所：協会会館 会議室  
出席者：諸井会長 以下4名  
議 事：(1) 各委員会の報告について  
(2) 今後の予定について  
(3) その他

### 第4回三役会

日 時：令和2年9月23日（水）午後3時  
場 所：協会会館 会議室  
出席者：諸井会長 以下4名  
議 事：(1) 職員の採用について  
(2) 顧問会について



(3) 造園技能検定委員について

(4) 今後の予定について

### 第5回三役会

日 時：令和2年11月27日（金）正午

場 所：協会会館 会議室

出席者：諸井会長 以下4名

議 事：(1) 令和2年事業報告について

(2) 収支計算状況について

(3) 令和3年度事業計画について

(4) 令和3年度予算について

(5) 第3回理事会提出議案について

(6) 今後の予定について

### 総務委員会

日 時：令和2年6月16日（火）午後2時

場 所：協会会館 会議室

出席者：鈴木委員長 以下5名

議 事：(1) 令和2年度事業について

(2) その他

日 時：令和2年8月20日（木）午後3時

場 所：協会会館 会議室

出席者：鈴木委員長 以下4名

議 事：(1) 親善ゴルフコンペについて

(2) その他

日 時：令和2年10月6日（火）午前10時

場 所：協会会館 会議室

出席者：正副委員長

議 事：(1) 親善ゴルフコンペについて

(2) その他

日 時：令和 2 年 11 月 25 日（水）午後 2 時  
場 所：協会会館 会議室  
出席者：鈴木委員長 以下 5 名  
議 事：(1) 令和 3 年度事業計画について  
(2) その他

### 事業委員会

日 時：令和 2 年 6 月 17 日（水）午後 2 時  
場 所：協会会館 会議室  
出席者：松崎委員長 以下 5 名  
議 事：(1) 令和 2 年度事業について  
(2) その他

日 時：令和 2 年 11 月 24 日（火）午後 2 時  
場 所：協会会館 会議室  
出席者：松崎委員長 以下 5 名  
議 事：(1) 令和 3 年度事業について  
(2) その他

### 技術・研修委員会

日 時：令和 2 年 6 月 18 日（木）午後 2 時  
場 所：協会会館 会議室  
出席者：渡邊委員長 以下 6 名  
議 事：(1) 令和 2 年度事業について  
(2) その他

日 時：令和 2 年 10 月 2 日（金）午後 2 時 30 分  
場 所：コラッセ広場 （福島市）  
出席者：渡邊委員長 以下 8 名  
議 事：(1) お庭拠点づくりプロジェクト  
(2) その他

日 時：令和 2 年 11 月 10 日（火）午後 1 時 30 分  
場 所：協会会館 会議室

出席者：渡邊委員長 以下5名

議事：(1) お庭選考会

(2) その他

日時：令和2年11月26日（木）午後1時30分

場所：協会会館 会議室

出席者：渡邊委員長 以下3名

議事：(1) 令和3年度事業について

(2) その他

### 検定委員・検定補佐員打合せ会議

日時：令和2年11月5日（木）午後1時30分

場所：協会会館 会議室

出席者：検定員2名 検定補佐員5名

議事：(1) 後期造園技能検定3級について

(2) その他

## V. 事業報告

### 1. 調査研究事業（継続事業1）

①品質向上、造園技術、造園資材、造園施工の合理化に関する調査研究をおこない、その結果を県民が利用しやすいように、わかりやすく整理し、ホームページや展示会等で広く公表した。

令和2年2月26日 造園技術向上のための専門図書や資料等の紹介

### ②放射性物質の除染方法に関する事業

会員がおこなった「ため池の除染方法」（浪江町におけるため池の除染例）についてとりまとめ、ホームページに公開し、現況について広報をおこなった。

#### 【避難指示解除準備区域に指定されていた地域のため池除染】

現場名：南さくため池環境保全整備工事

施工場所：浪江町大字請戸字南さく地内

工期：令和元年9月19日～令和2年7月31日

特に浜通りにおいては、農業用水確保のため多くのため池が存在します。

ため池は、周辺の里山からいわゆる沢水が流れ込んできます。

その中には、原発事故由来の放射性セシウムが付着した土砂も時間をかけながらゆっくりと流れ込んできます。そして、ため池の水底に溜まっていきます。

水底にあるうちは、水が放射線を遮断し外への影響は少ないと思われませんが、農業用水として田畑に利用されるとなると、水底の土砂も動くことになりそれに合わせて放射性セシウムもため池外に流れ出る可能性があります。

そこで、それを防ぐために、放射性セシウムが一番多く含まれる水底に溜まった汚泥を回収することになります。

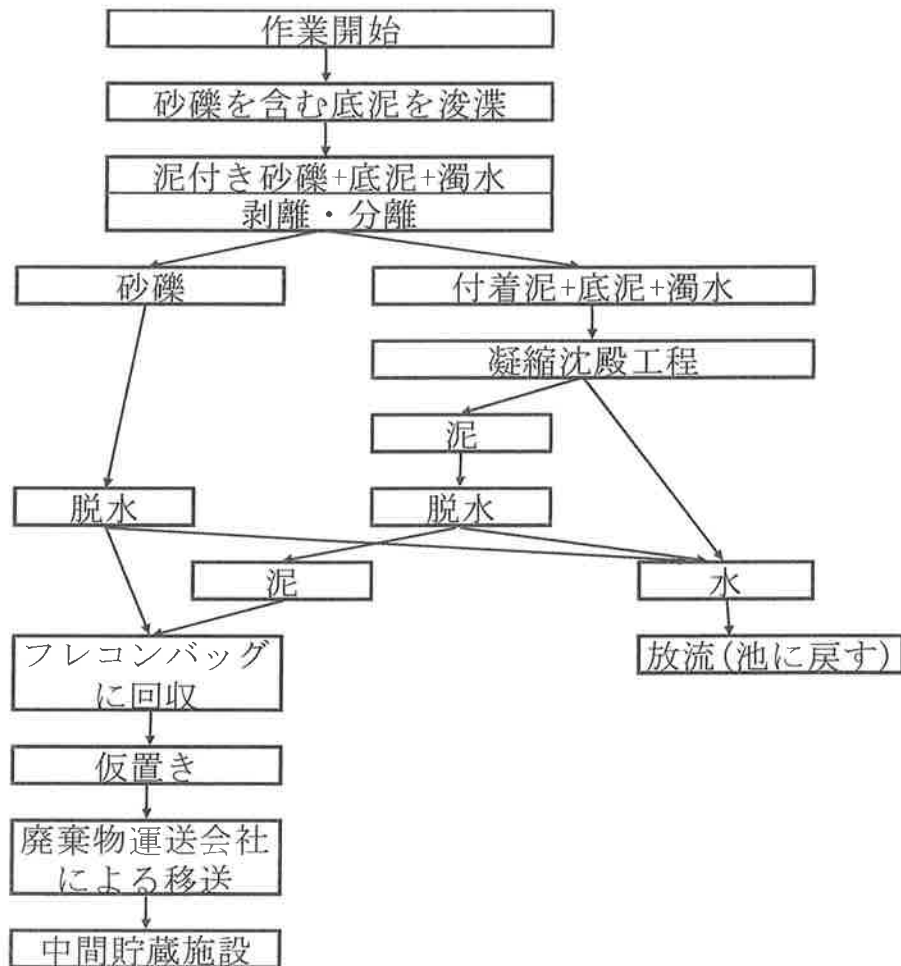
この方法で改善される根拠は、水に溶け込んでいる放射性セシウムや、放射性セシウムが付着する浮遊物質の量に比べ、底の泥に付着する放射性セシウムの量が多いことが前提です。詳細については、農水省「ため池の放射性物質対策技術マニュアル」でも紹介されております。

今回、除去したため池の底泥は放射性物質濃度の高い8,000Bq/kg以上のものです。これは、「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」という、長い名前の法律で規定されている指定廃棄物ということになります。

今回の大まかな作業手順は下記のとおりです。

- ① ため池の放射性物質の分布、濃度については先行して調査会社が調査し、その結果により作業場所、底泥除去厚が定められております。
- ② 底泥を除去する方法ですが、イメージとしては塵取り状のスコップで底を一定深さ鋤取りながら水と一緒に底泥を吸い上げ陸上に送ります。
- ③ 送られた底泥は、高圧で攪拌されながら分離装置で分離され、細かい泥と濁水、それより大きい砂礫に分離されます。
- ④ 砂礫は、脱水してフレコンバッグに入れ回収します。
- ⑤ 細かい泥と濁水は凝集剤を入れた水処理機で凝縮され泥と透明な上澄み水に分離され、泥は脱水してフレコンバッグに入れ回収し、上澄み水は池に放流する。
- ⑥ フレコンバッグに収納した泥と砂礫は、仮置き場に搬入します。
- ⑦ フレコンバッグは専門の運搬会社によって、中間貯蔵施設に移送されます。

#### 作業フロー



高濃度の放射性セシウムは底泥と一緒に回収されるわけですが、先にも述べましたが、ため池には周辺から沢水が流れ込みます。定期的にため池の底の放射性セシウムの濃度を測定し基準を超えれば回収作業を行っていくことが必要です。

#### 【今後の課題】

- ① 貯まり続けるトリチウム汚染水の処理。
- ② 高濃度放射物質の付着した原子炉建屋の解体。
- ③ 山林原野の除染。
- ④ 中間貯蔵施設に貯まっていく放射性廃棄物、これを30年以内（中間貯蔵開始2015年～2044年まで）に県外処分場に移送するというが、まだまだ期間があると言って具体的にその検討は進んでいないのではないかと。どれをとっても難しい問題です。

- ▶ 最後に原発事故が起きてから10年が過ぎようとしています。事故前は原子力発電所から恩恵のあった地域かもしれませんが、いざ事故が発生すると以前のような故郷には戻らず、住民もバラバラとなり一変してしまいました。取り返しのつかなくなった状況をもう一度考えてほしいと思います。津波の自然災害だけであつたなら、頑張って復興・復旧はしていたはずですが、原発事故からの復旧はいつになるかわかりません。この事故は、人間が物理学の発展により原子力というエネルギーを知り、それを利用する中で起きた事故ともいえます。これは、人間が起こした最悪の事故です。

一方、令和2年は、自然（生物の世界）から人間世界への警告ともいえる新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起こり、今なお人々は苦しんでいます。かつて、ヨーロッパでは産業革命が起こり、日本では江戸時代から明治時代（1868年）になり徒歩・馬・飛脚の時代から、僅か150年程で新幹線・リニアカー・ジェット機・宇宙ステーション・スマートホンと加速度的に急激に生活様式が変化してきました。化石燃料の使用量もそれに合わせて急増しました。何億年もかけて地球が蓄えてきた化石燃料を150年の短い間に使い放題使って来ました。それにより地球環境もおかしくなってきました。

更に、身近にある緑は、二酸化炭素を始めとする温室効果ガスを吸収してくれるため、温暖化を防ぐ役割が大いに期待されています。又、屋上緑化や壁面緑化、芝生を利用した街づくりは、ヒートアイランドをやわらげてくれます。地球温暖化が深刻な今、緑の効用を正しく知り、緑をたくさん増やしていきたいものです。そして、個々人がエネルギーの使い方を真剣に考える時期に来ているのではないのでしょうか。

## 2. 造園技術、技能者の育成事業（継続事業2）

造園技術、技能の習得を目指す県民や学生・受刑者を対象に、造園技術及び労働安全対策に関する研修・講習会を実施することにより、国家資格取得者の育成につながる支援をおこなった。

### ① 学生への指導について

期 間：10月 ～ 12月

個別指導：福島県立会津農林高等学校 3人

福島県立岩瀬農業高等学校 11人

福島県立磐城農業高等学校 4人

### ② 福島職業能力訓練センター受講者への指導について

受刑者の更正と社会復帰のための職業訓練であり、受刑者1名に対して令和元年10月1日～令和2年9月30日まで、作庭と3級技能検定受検のための指導をおこなった。

## 3. 緑化に関する相談、緑化推進事業（継続事業3）

### ① 2020一語一絵 第15回「みどりの文」募集について

「よいにわの日（4月28日）」（日本記念日協会登録）に合わせて、県民の「みどり」に対する意識の高揚を図り、「みどり」の大切さを啓蒙するため、「みどりの文（ふみ）」を広く全国から募集し、表彰をおこなった。福島民報社広告局長、福島建設工業新聞社社長、日本造園組合連合会理事、（一社）日本公園緑地協会企画部調査役、当協会会長に審査員をお願いし、応募作品を多方面から審査し、応募者の性別、年齢にとらわれない公平な選考を行った。また、選考結果及び入選作品については、掲載の特集号を組み、10月28日付の福島民報新聞で公開した。

今回も、応募者の年齢が幅広く、県外からの応募者数も半数を占めた。手紙・エッセー部門では庭や緑を通して、家族との大切な思い出を綴った内容や自粛生活で改めて緑を見直す機会になったなど、さまざまな世代、地域で「緑」や「庭」は人生にとって大切な存在であるということがうかがわれた。また、県外高校生に応募が多かったのも特徴である。

しかし、今年はコロナ禍の状況をふまえ、表彰式並びに講演会は中止とし、賞状等は、それぞれ入賞者に送付をした。

募集期間：4月28日 ～ 8月28日

審査会：9月23日 於）福島民報会館

発 表：9月28日

特集号新聞公表：10月28日

応募総数：1,175通（手紙・エッセー部門470通、絵手紙部門287通、フォト部門418通）

② 野口健氏との鼎談

対談者：野口健氏と当協会諸井道雄会長

場 所：福島民報誌上 10月28日

内 容：本来なら、野口 健氏の講演会を予定していたが、コロナ感染拡大防止のため講演会は中止としたが、更に県民に広く協会事業をPRするため、今回野口氏との対談となった。協会会長が「みどりの文」や「お庭拠点づくりプロジェクト」の事業目的を話す一方、野口氏は、今までにおこなってきた世界各地での環境保護の大切さを話され、更に「環境」の環は、人と人との「輪」であると強調された。庭がとりもつ「縁」や「輪」を大切にすることが精神性の高い暮らしに結びつくのではないだろうか。

③ 第13回「お庭拠点づくりプロジェクト」

地域の生活環境の向上を目指し、一ヶ月間お庭の展示をおこなった。緑の環境は、民間レベルでの地球温暖化防止の一助となり、また、空気の浄化作用、癒しを与える効果もある。平成20年からの継続事業である。福島県は、三地方（浜通り、中通り、会津地方）ともにそれぞれ特色のある風土であるため、毎年各地域持ち回りで展示会、相談室を設けることで、その地方にあった生活環境をきめ細かに支援することができた。展示をした庭は、その地域の緑化環境作りの起点にすべく、緑化環境作りに理解のある方々を募り、協会で選考し、そのお宅に移設をした。

【展示会】展示期間：10月1日（木）～ 10月31日（土）

展示場所：コラッセ広場（福島市）

展示内容：A「憩いの庭」

B「フリーダムガーデン」

応募総数：56件

みどりの相談所開設：10月25日（日） 10件（剪定・病虫害防除等）





A 「憩いの庭」



B 「フリーダムガーデン」

#### 4. 要望事項

##### ① 令和3年度県予算編成に対する要望（建産連）

月 日	令和2年9月3日
要 望 先	自民党(土木部会)・公明党・共産党
要 旨	<p>各地域の実情を考慮した公共事業通常予算の確保と発注について</p> <p>① 大規模地震災害への防災・減災対策としての防災機能を兼ね備えた都市公園整備予算合わせて防災効果のある緑地を作るための関係予算の要望をいたします。</p> <p>② 健康で生き生き暮らせる県民生活が望まれますが、新型コロナウイルス感染症対策における外出自粛が続く中、また、新しい生活様式においても、県民の健康に都市公園、緑化環境の整備は大きな役割を果たしています。緑の効用を生かした緑のインフラ形成に係る造園工事の事業予算の拡大を要望します</p>

##### ② 令和3年度県予算編成に対する要望（林業会議）

月 日	令和2年9月4日
要 望 先	自民党・公明党・共産党
要 旨	<p>海岸防災林の再生について</p> <p>① 白砂青松の美しい風景を取り戻し、津波の減災効果をはじめ防災機能や環境保全等多様な機能を有する海岸防災林の再生には、継続的な保育管理が必要であることから、長期的な視点のもと必要な予算を確保するとともに、地域住民や森林づくり活動団体、企業等の参画を支援すること。</p> <p>② 海岸防災林の造成に当たっては、引き続き事業発注の平準化を図るとともに、丸棒材などの工事資材への地域木材の活用を促進すること。</p>

5. 福島県造園建設業協会青年部会への支援について

業界を担う次世代の青年部会の活動に対し支援をおこなった。

6. 講習会等の実施

造園技能等に関する資格取得推進のために次の講習会を実施した。

「新担い手3法と人材育成確保、働き方改革」研修会

日 時：令和2年2月26日（水）午後2時45分～午後4時30分

場 所：ウエディング エルティ（福島市）

講 師：藤吉 信之（一社）日本造園建設業協会専務理事

受講者数：33名

技能検定予備講習会

【3級実技】

日 時：令和2年12月2日（水）午前9時

場 所：須賀川市 ものづくり支援センター

講 師：鈴木 新一・関根 慎二

受講者数：2名

【3級学科】

日 時：令和2年12月3日（木）午後1時

場 所：福島市 協会会館

講 師：野尻 晃

受講者数：2名

安全特別教育◆伐木作業等に係る特別教育の補講講習

▶小径木

5月27日（水）午前8時30分～午後3時 受講者数 10名

7月13日（月）午前8時30分～午後3時 受講者数 14名

7月14日（火）午前8時30分～午後3時 受講者数 17名

7月15日（水）午前8時30分～午後3時 受講者数 19名

7月16日（木）午前8時30分～午後3時 受講者数 24名

会 場：福島市 協会会館研修室

▶大径木

7月17日（金）午後1時30分～午後4時 受講者数 53名

会 場：福島市 あづま総合運動公園体育館研修室

### 芝刈ロボット実演会

日 時：令和2年9月11日（金）午後1時30分  
場 所：小峰城内（白河市）  
講 師：武田 恒道（ハスクバーナ・ゼノア㈱）他  
参加者数：27名

### 庭園研修会

日 時：令和2年11月11日（水）午後1時30分～午後4時  
場 所：霞ヶ城公園（二本松市）～浄楽園（福島市）  
参加者数：15名

## VI. 受託事業

一般社団法人日本造園建設業協会福島支部、一般社団法人日本造園組合連合会福島県支部より、それぞれの事務処理業務を受託した。

## VII. 会員の福利厚生及び支援事業

### 1. 親善ゴルフコンペ

日 時：令和2年10月16日（金）午前8時30分  
場 所：矢吹ゴルフ倶楽部  
参加者数：39名

優 勝 柴 遼太郎（県南支部）  
準優勝 満山 喜美（県南支部）  
第三位 山田 直光（相双支部）

### 2. 慶弔規程に基づき、会員の慶弔等に際し給付金支給をおこなった。

香 典 6件 生花 5件  
見舞金 1件

### 3. 表 彰

#### 【協会会長表彰】

協会表彰規程にもとづき第8回通常総会において表彰をおこなった。

・ 功労賞 4名      ・ 勤続精励 5名      ・ 退任役員感謝状 3名

【外部表彰関係】（敬称略）

- ・2月 6日 日本造園組合連合会東北ブロック会会長表彰 桑原 正浩
- ・3月16日 感謝状（国土交通省東北地方整備局長）  
災害応急対策・応急復興支援活動功労者（株）磐梯園
- ・5月26日 令和元年度森林土木工事優秀工事監督者  
（株）山一緑化土木 石井 政宅
- ・7月20日 安全衛生表彰（建災防県支部）2019年度安全競争表彰  
第1位 常磐開発（株）（建築工事部門）
- ・7月27日 災害対策功労者（東北地方整備局郡山国道事務所）  
（株）磐梯園
- ・8月28日 福島市優良建設工事（福島市）十六沼公園人工芝サッカー場整備工事  
（株）植留緑化土木

4. カレンダーの配布

国・県・市町村・関係団体等へのカレンダーの配布をおこなった。また、福島民報新聞社主催の「2021有名企業カレンダー・手帳チャリティーバザール」にもカレンダーの提供をおこなった。

VIII. 令和2年度「ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業」

交換賞品提供事業者の登録

平成27年度からの継続事業であり、地域緑化推進の一助になる機会であり、提供事業者として登録をした。提供する「商品」については、20万ポイントに3件の庭等をホームページに公開をして広く周知をおこなっている。